

(別添7)

事業所名 グループホーム敬天

2 目標達成計画

作成日: 令和5年5月26日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 29 | 感染症の流行時とはいえ、もっと地域資源を有効に活用する方法はなかったか。 | 地域資源を有効活用できるよう日頃より確認や情報集を行い、社会の一員としてのつながりを大切にした支援を心掛ける。 | 日頃より地域との連絡を密に取り、情報収集や協力できる活動・取り組みなどを随時確認し、可能な限り実践していく。 | 12ヶ月 |
| 2 | 26 | 入所者の安全や現状をできるだけ維持していくことに気を取られ、新たな目標や取り組みをプランに反映させることができていなかった。 | 身体機能の低下は免れないとはいえ、その中でも新たな目標に取り組み可能性を広げる。 | 現状に満足するのではなく、機能が低下していく中でもできることや今後できる可能性があることに目を向け、実現にむけて取り組んでいく。 | 12ヶ月 |
| 3 | 35 | 火災に対する訓練は毎月実施していたが、その詳細な記録が足りなかった。また、地震や水害に対する訓練も火災に比べると頻度は少なく、有事の際にスムーズに対応できるかの懸念がある。 | 火災訓練と同様に、被害が懸念される時期や日頃から頻回に地震・水害の訓練を実施し、詳細に記録する。 | 火災及び地震・水害の訓練を随時行い、特に梅雨時期や台風の前などは、水害に対する訓練や対策を念入りに行い、混乱防止・安全に備える。また、それらを詳細に記録し、今後の活動に活かしていく。 | 12ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。